

大学番号：588

届出

[平成23年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

第一工業大学 工学部 航空工学科

第一工業大学 工学部 自然環境工学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 都築教育学園
平成23年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 キョウガクカチョウ サ フルソノ トシロウ
教学課長補佐 古園 敏郎

電話番号 0995-45-0640

（夜間） 090-1195-4759

F A X 0995-47-2083

e-mail t-furuzono@daiichi-koudai.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成23年3月11日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書」の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

- 1 概要等
- 2 授業科目の概要
- 3 施設・設備の整備状況，経費
- 4 既設大学等の状況
- 5 教員組織の状況
- 6 留意事項に対する履行状況等
- 7 その他全般的事項

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 都築教育学園

(2) 大学名

第一工業大学

(3) 大学の位置

〒899-4395

鹿児島県霧島市国分中央1丁目10番2号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(ツヅキ ミキエ) 都築 美紀枝 (平成15年7月)		
学長	(ヨシタケ タケト) 吉武 毅人 (平成20年2月)		
学部長	(カワサキ サトシ) 川崎 三十四 (平成22年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成20年度に報告済の内容 → (20)

平成23年度に報告する内容 → (23)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成20年度開設の4年制の学科の場合(平成23年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 航空工学科 学士(工学)	4年	60人	年次人	240人	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員超過率	備考
	平成23年度		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	60人 (0) [-]	人	人	人	人	人	人	人	0.55倍	
志願者数	40 (0) [-]	()	()	()	()	()	()	()		
受験者数	40 (0) [-]	()	()	()	()	()	()	()		
合格者数	40 (0) [-]	()	()	()	()	()	()	()		
B 入学者数	33 (0) [-]	()	()	()	()	()	()	()		
入学定員超過率 B/A	55%									

- (注) ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。

- ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 33	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
2年次	/		[]	[]	[]	[]	[]	[]	
3年次	/		/		[]	[]	[]	[]	
4年次	/		/		/		[]	[]	
計	[-] 33	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	

(注) ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
- ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
- ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成20年度開設の4年制の学科の場合(平成23年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 自然環境工学科 学士(工学)	4年	50人	年次人	200人	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員超過率	備考
	平成23年度		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	50人 (0) [-]	人	人	人	人	人	人	人	0.84倍	
志願者数	47 (0) [-]	()	()	()	()	()	()	()		
受験者数	47 (0) [-]	()	()	()	()	()	()	()		
合格者数	47 (0) [-]	()	()	()	()	()	()	()		
B 入学者数	42 (0) [-]	()	()	()	()	()	()	()		
入学定員超過率 B/A	84%									

- (注) ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。

- ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 42	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
2年次	/		[]	[]	[]	[]	[]	[]	
3年次	/		/		[]	[]	[]	[]	
4年次	/		/		/		[]	[]	
計	[-] 42	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	

(注) ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
- ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
- ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等 (該当なし)

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成21年度開設の博士後期課程の場合(平成23年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画		備考	
	修業年限	入学定員		収容定員
○○研究科 ○○専攻(○○課程) 修士(○○) 又は 博士(○○)	年	人	人	基礎となる学部等

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	() []	() []	倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A								

- (注) ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~22年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
2年次	/		[]	[]	[]	[]	[]	[]	
3年次	/		/		[]	[]	[]	[]	
計	[]		[]		[]		[]		

- (注) ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
 - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況 (航空工学科)

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成23年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	計 [-]	(累積)計 [-]	0%
	うち平成23年度入学者 0人	うち平成23年度 33人	
	(主な退学理由)		
平成24年度 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)	計 []	(累積)計 []	%
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	うち平成24年度入学者 人	うち平成24年度 人	
	(主な退学理由)		
平成25年度 (平成25年4月1日～ 平成26年3月31日)	計 []	(累積)計 []	%
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	うち平成24年度入学者 人	うち平成24年度 人	
	うち平成25年度入学者 人	うち平成25年度 人	
	(主な退学理由)		

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況 (自然環境工学科)

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成23年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	計 [-]	(累積)計 [-]	0%
	うち平成23年度入学者 0人	うち平成23年度 42人	
	(主な退学理由)		
平成24年度 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)	計 []	(累積)計 []	%
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	うち平成24年度入学者 人	うち平成24年度 人	
	(主な退学理由)		
平成25年度 (平成25年4月1日～ 平成26年3月31日)	計 []	(累積)計 []	%
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	うち平成24年度入学者 人	うち平成24年度 人	
	うち平成25年度入学者 人	うち平成25年度 人	
	(主な退学理由)		

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<工学部 航空工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通総合教育科目	日本の歴史	1前		2		1						
	世界の歴史	1後		2		1						
	やさしい哲学	2前		2			1					
	現代社会に生きる倫理	2後		2			1					
	体育実技Ⅰ	2前		1		1						
	体育実技Ⅱ	2後		1		1						
	現代社会の諸相	1後		2				1				
	日本国憲法	3前		2				1				
	法学	3後		2				1				
	経営学総論	1後		2				1				
	技術と経営	2前		2		1						
	修学基礎	1前	1			6	2					
	数学入門演習	1前		2			2	2				
	微分積分学	1後	4				1	1				
	微積分学演習	1後		1			1	1				
	多変数の微分積分	2前		2			1	1				
	線形代数	2後		2				1				
	物理学入門演習	1前		2			1	2		1		
	物理学	1後	4				1	1				
	物理学演習	1後		1			1	1				
	現代物理学	2前		2			1	1				
	化学入門	2前		2		1						
	高分子化学	2後		2		1						
	技術者倫理	3後		1		6	2					
	産業と人間	1前		2				1	3			
	英語入門演習	1前		2			1	1				
	実用英語	1後	4				1	1				
	総合英語Ⅰ	2前		2			1	1				
	総合英語Ⅱ	2後		2			1	1				
	英会話入門	3前		2						1		
	基礎英会話	3後		2						1		
	基礎ドイツ語	1前		2			1	1				
	ドイツ語	1後		2			1	1				
コミュニケーション技術Ⅰ	1前	1			6	2						
コミュニケーション技術Ⅱ	3後	1			6	2						
インターンシップ(事前指導)	2後		1				1					
テーマデザインニング	1前		2			1						
経営リーダーシップ論	3後		2			1						
専門基礎科目	関数論	2後		2				1				
	複素数と行列計算	2前	2			1						
	ベクトル解析とフーリエ級数	2後		2		1						
	応用推計学Ⅰ(基礎編)	4前		2				1				
	応用推計学Ⅱ(演習編)	4後		2				1				
	電気工学概論	2前		2		1						
	工業力学	1後		2		1						
	微分方程式	2前		2				1				
	コンピュータリテラシー	1前後	2			1						
	情報リテラシー	2前		2		1						
ネットワークコンピュータ	3前		2		1							
JAVAプログラミング	3後		2				1					
	航空機概論	1前		2		1						
	航空機力学Ⅰ	2前	2			1						
	航空機力学Ⅱ	2後	2			1						
	飛行力学の基礎	4前		2		1						
	航空機の過渡運動	4後		2		1						
	空気力学の基礎	3前	2			1						
	粘性力学の基礎	3後	2			1						
	圧縮性空気力学	4前	2			1						
	高速気体力学	4後		2		1						
	ヘリコプター概論	4前		2		1						
	航空宇宙材料	1前		2		1						
	材料力学基礎	2前	2			1						
	材料力学Ⅰ	2後	2			1						
	材料力学Ⅱ	3前	2			1						
	航空機構造力学Ⅰ	3後	2			1						
	航空機構造力学Ⅱ	4前		2		1						
	熱力学基礎	2前	2			1						
	工業熱力学	2後	2			1						
	推進工学	3前	2			1						

専門応用科目	ジェットエンジン	3後	2			1				
	宇宙科学概論	1後		2		1				
	宇宙工学概論	2前		2		1				
	ロケットエンジン	3前	2				1			
	電気推進	3後		2			1			
	伝熱工学	3後		2			1			
	現代宇宙論	2後		2				1		
	制御系の解析	3前		2			1			
	制御系の設計	3後		2			1			
	システム工学	4前		2				1		
	信頼性工学	4後		2				1		
	機械要素設計	3前		2			1			
	図学	1前	2				1			
	航空基礎製図	1後	2				1			
	CADリテラシー	2前		1			1			
	CAD演習	2後		1			1			
	航空設計製図(航空機設計)①	4前	1				1			
	航空設計製図(ロケット設計)②	4前	1				1			
	航空工学実験	3通	2				3	1		
	整備工学演習Ⅰ	2通		2			1			
	整備工学演習Ⅱ	3通		3			1			
	整備工学演習Ⅲ	4通		1			1			
	操縦工学演習Ⅰ	2通		2				1		
	操縦工学演習Ⅱ	3通		2				1		
	操縦工学演習Ⅲ	4前		1				1		
	気象工学演習	3通		1				1		
	特別整備実習Ⅰ	2前後		1			1			
	特別整備実習Ⅱ	3前後		1			1			
	操縦実習Ⅰ	2後		1				1		
	操縦実習Ⅱ	3後		1				1		
	単発機運転実習	2前後		1			1	1		
多発機運転実習	3前後		1			1	1			
航空機整備工作実習	4通		2			1		3		
ベンチャービジネス論	3前		2			1				
マーケティング論	2後		2			1				
卒業研究	4通	4				6	2			

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1)授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3)未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
30	77	0	107	[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目（該当なし）

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。（ただし，未開講科目があった場合は，（1）「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目（該当なし）

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<工学部 自然環境工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通総合教育科目	日本の歴史	1前		2		1						
	世界の歴史	1後		2		1						
	やさしい哲学	2前		2			1					
	現代社会に生きる倫理	2後		2			1					
	体育実技Ⅰ	2前		1		1						
	体育実技Ⅱ	2後		1		1						
	現代社会の諸相	1後		2				1				
	日本国憲法	3前		2				1				
	法学	3後		2				1				
	経営学総論	1後		2				1				
	技術と経営	2前		2		1						
	修学基礎	1前	1			4	3	1				
	数学入門演習	1前		2			2	2				
	微分積分学	1後	4				1	1				
	微積分学演習	1後		1			1	1				
	多変数の微分積分	2前		2			1	1				
	線形代数	2後		2				1				
	物理学入門演習	1前		2			1	2		1		
	物理学	1後	4				1	1				
	物理学演習	1後		1			1	1				
	現代物理学	2前		2			1	1				
	化学入門	2前		2		1						
	高分子化学	2後		2		1						
	技術者倫理	3後		1		4	3	1				
	産業と人間	1前		2				1				
	英語入門演習	1前		2			1	3				
	実用英語	1後	4				1	1				
	総合英語Ⅰ	2前		2			1	1				
	総合英語Ⅱ	2後		2			1	1				
	英会話入門	3前		2						1		
	基礎英会話	3後		2						1		
	基礎ドイツ語	1前		2			1					
	ドイツ語	1後		2			1					
コミュニケーション技術Ⅰ	1前	1			4	3	1					
コミュニケーション技術Ⅱ	3後	1			4	3	1					
インターンシップ(事前指導)	2後		1				1					
テーマデザイン	1前		2		1							
経営リーダーシップ論	3後		2		1							
専門基礎	コンピュータリテラシー	1前後	2			1						
	情報リテラシー	2前		2		1						
	ネットワークコンピュータ	3前		2		1						
	JAVAプログラミング	3後		2				1				
	土木製図基礎	1前	1			1						
土木製図	1後		1		1							
構造力学基礎	2前		2		1							
構造力学	2後		2		1							
鋼構造基礎	3前		2		1							
鋼構造	3後		2		1							
鉄筋コンクリート構造基礎	3前		2		1							
鉄筋コンクリート構造	3後		2		1							
設計製図Ⅰ	3前	1			1							
設計製図Ⅱ	3後		1		1		1					
土木材料学	1前		2		1							
コンクリート工学	1後		2		1							
土質工学基礎	2前		2			1						
土質工学	2後		2			1						
水理学基礎	2前		2			1						
水理学	2後		2			1						
土木施工法基礎	2前		2		1							
土木施工法	2後		2		1							
火薬学	2後		2			1						
施工管理Ⅰ	3前	2			1		1					
施工管理Ⅱ	3後		2		1		1					
施工管理Ⅲ	4前		2				1					
道路工学	2前		2		1							
交通工学	2後		2		1							
測量学Ⅰ	1前	2				1						
測量学Ⅱ	1後	2				1						
測量学Ⅲ	2前	2				1						

心 用 科 目	測量実習Ⅰ	2前	1			2	1		
	測量実習Ⅱ	2後	1			2	1		
	土木実験1(土木材料)	3前	1		2				
	土木実験2(土質)	3前	1		1	1			
	土木実験3(水理)	3後	1	1		2	1		
	土木と社会	1前	2		1				
	土木行政法	2後		2		1			
	土木計画学	3後		2	1				
	都市計画	4前		2		1			
	防災工学	4後		2	1				
	浄化槽学	2前		2		1			
	環境微生物学	3前		2		1			
	水処理工学基礎	3前	2		1				
	水処理工学	3後		2		1			
	土木実験4(水の環境)	3後		1	1				
	造園	1後		2		1			
	緑地環境工学基礎	3前	2			1			
	緑地環境工学	3後		2		1			
	土木景観	4前		2	1				
	土木実験5(緑の環境)	3後		1	1	1			
	インターンシップ	2後		2	3				
	活動分野学習Ⅰ	3前		2	1			1	
	活動分野学習Ⅱ	3後		2	1			1	
	土木総合学習Ⅰ	4前		2		2			
	土木総合学習Ⅱ	4後		2	3			1	
	環境技術英語	3後		2	1				
	電気機器工学	3後		2				1	
	機械工学概論	3後		2	1				
	ベンチャービジネス論	3前		2	1				
	マーケティング論	2後		2	1				
卒業研究	4通	4		4	3	1			

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1)授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3)未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
60	66	0	126	[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。(ただし, 未開講科目があった場合は, (1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止 (教育課程から削除) した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	上野校地の運動場用地は都築第一学園が設置する横浜薬科大学と共同利用(22年度使用賃借契約締結済)借用面積: 2,251㎡ 借用期間: 30年		
	校 舎 敷 地	52,793.46㎡	0㎡	0㎡	52,793.46㎡			
	運 動 場 用 地	27,292.00㎡	0㎡	0㎡	27,292.00㎡			
	小 計	80,085.46㎡	0㎡	0㎡	80,085.46㎡			
	そ の 他	28,497.62㎡	0㎡	0㎡	28,497.62㎡			
合 計	108,583.08㎡	0㎡	0㎡	108,583.08㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	22,969.83㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	22,969.83㎡ (0㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	45室	2室	59室	0室 (補助職員 人)	0室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数					
	工学部 航空工学科		8 室					
	工学部 自然環境工学科		8 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分 学術雑誌 300冊〔50冊〕 学術雑誌
	工学部 航空工学科	5,000〔500〕 (3,965〔389〕)	50〔10〕 (3〔1〕)	0〔0〕 (0〔0〕)	200 〔114〕	0 〔0〕	0 〔0〕	
	工学部 自然環境工学科	4,000〔200〕 (2,512〔117〕)	50〔10〕 (1〔0〕)	0〔0〕 (0〔0〕)	100 〔5〕	0 〔0〕	0 〔0〕	
	計	9,000〔700〕 (6,477〔506〕)	100〔20〕 (4〔1〕)	0〔0〕 (0〔0〕)	300 〔119〕	0 〔0〕	0 〔0〕	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	539㎡		200		60,000			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
	2,0006.13㎡		トラック1面		グラウンド1面			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	200千円	200千円	図書購入費	2,500千円	2,500千円	2,500千円
		共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	57,000千円	57,000千円	57,000千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1060千円	1060千円	1060千円	1060千円	—千円	—千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		学生納付金以外は現在のところ計画なし						

- (注) ・ 届出時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成23年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(23)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称		第一工業大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
工学部	年	人	年次人	人		倍		鹿児島霧島校地(キャンパス)	
情報電子システム工学科	4	150	—	600	学士	0.82		鹿児島県霧島市国分中央1丁目10番2号	
機械システム工学科	4	50	—	200	学士	0.98	昭和43年度	東京上野校地(キャンパス)	
建築デザイン学科	4	50	—	200	学士	0.7	昭和43年度	東京都台東区	
						0.78	昭和49年度	上野7-7-4 東上野4-26-5 北上野1-7-4	
大学の名称		第一幼児教育短期大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
幼児教育科	2	100	—	200	短期大学士	0.99	平成21年度	鹿児島県霧島市国分中央1丁目12番24号	

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校等の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)の記載は不要です。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<工学部 航空工学科>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	酒井 健二 (64)	平成23年4月	空気の基礎 粘性空気の力学 圧縮性空気の力学 高速気体力学 図学 航空基礎製図 航空工学実験						
専	教授	出川 喬庸 (63)	平成23年4月	複素数と行列計算 ベクトル解析とフーリエ級数 コンピュータリテラシー 飛行力学の基礎 航空機の過渡運動 制御系の解析 制御系の設計 CADリテラシー CAD演習						
専	教授	鈴木 弘一 (68)	平成23年4月	電気工学概論 推進工学 ジェットエンジン 宇宙科学概論 宇宙工学概論 ロケットエンジン 電気推進 航空工学実験						
専	教授	中村 俊一郎 (65)	平成23年4月	材料力学Ⅰ 材料力学Ⅱ 航空機構造力学Ⅰ 航空機構造力学Ⅱ 機構要素設計 航空設計製図〔航空機設計〕						
専	教授	小山 敏行 (66)	平成23年4月	航空宇宙材料 力学基礎 工業熱力学 伝熱工学 整備工学演習Ⅰ 整備工学演習Ⅱ 整備工学演習Ⅲ 特別整備実習Ⅰ 特別整備実習Ⅱ 機運転実習 多発機運転実習						
専	教授	中村 慎悟 (62)	平成23年4月	航空機概論 航空機力学Ⅰ 航空機力学Ⅱ ヘリコプター概論 航空設計製図〔ロケット設計〕						
専	准教授	古川 靖 (43)	平成23年4月	システム工学 信頼性工学 現代宇宙論 物理学 物理学演習 現代物理学						
専	准教授	中澤 謙 (60)	平成23年4月	操縦工学演習Ⅰ 操縦工学演習Ⅱ 操縦工学演習Ⅲ 気象工学演習 操縦実習Ⅰ 操縦実習Ⅱ 機運転実習 多発機運転実習						

- (注) ・届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「**届出時の計画**」には**開設時現在の満年齢(科目就任時の満年齢ではありません)**を、「**変更状況**」には**平成23年5月1日現在の満年齢**を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
6	2			8		6	2			8		
[6]	[2]	()	()	[8]	()	[0]	[0]	[]	[]	[0]	[]	

- (注) ・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)

(3) 専任教員辞任等の理由 (該当なし)

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任 (就任辞退を含む) 等の理由
1			
2			
3			

(注) ・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」(該当なし)

--

(注) ・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

5 教員組織の状況

<工学部 自然環境工学科>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	田中 光徳 (67)	平成23年4月	土木材料学 土木と社会 コンクリート工学 土木実験1(土木材料) インターンシップ 道路工学 交通工学 土木総合学習Ⅱ						
専	教授	徳山ミヨージン (63)	平成23年4月	コンピュータリテラシー 鉄筋コンクリート構造基礎 鉄筋コンクリート構造 設計製図Ⅱ 土木実験						
専	教授	吉田 清司 (62)	平成23年4月	構造力学基礎 構造力学 環境技術英語 土木総合学習Ⅰ 環境衛生学 水処理工学基礎 水処理工学 土木計画学 土木実験4(水の環境)						
専	教授	磯貝 滋 (61)	平成23年4月	鋼構造基礎 鋼構造 施工管理Ⅰ 施工管理Ⅱ 土木施工法基礎 土木施工法 防災工学 土木製図基礎 土木製図 設計製図Ⅰ インターンシップ 活動分野学習Ⅰ 活動分野学習Ⅱ						
専	准教授	麓川 昭憲 (67)	平成23年4月	水理学基礎 水理学 測量学Ⅰ 測量学Ⅱ 測量学Ⅲ 測量実習Ⅰ 測量実習Ⅱ 火災学 土木実験3(水理)						
専	准教授	山脇 正人 (64)	平成23年4月	土質工学基礎 土質工学 都市計画 土木行政法 土木実験2(土質)						
専	准教授	岡林 悦子 (62)	平成23年4月	造園 緑地環境工学基礎 緑地環境工学 浄化槽学 土木実験5(緑の環境)						
専	講師	難波 礼治 (33)	平成23年4月	コンピュータリテラシー 活動分野学習Ⅰ 活動分野学習Ⅱ 情報リテラシー 施工管理Ⅲ						

- (注)・届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇学部 △学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・年齢は、「**届出時の計画**」には**開設時現在の満年齢(科目就任時の満年齢ではありません)**を、「**変更状況**」には**平成23年5月1日現在の満年齢**を記入してください。
 ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
4	3	1		8		4	3	1		8		
[4]	[3]	[1]	()	[8]	()	[0]	[0]	[0]	[]	[0]	[]	

- (注)・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(3) 専任教員辞任等の理由 (該当なし)

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1			
2			
3			

(注)・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」(該当なし)

--

(注)・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<工学部 航空工学科及び自然環境工学科>

(1) 設置計画変更事項等

認 可 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 修了要件単位数 ・航空工学科 1 2 4 単位 必修科目 5 9 単位, 選択科目 6 5 単位 ・自然環境工学科 1 2 4 単位 必修科目 5 7 単位, 選択科目 6 7 単位 ② 施設・設備 a 講義室：4 5 室（CAD室、製図室含む）（共用） b 実験実習室 1 1 室 c 図書：5 2, 3 5 1 冊（共用）	

(注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 平成17年度に「FD委員会」を設立 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 委員会開催は、規程では「必要の都度」としているが、年度開催では、授業の前期・後期それぞれ1回ずつ開催をしている。 c 委員会の審議事項等 授業評価の実施時期、授業評価の内容検討、評価に対する次期授業への反映、授業の改善・工夫の必要性など。 ② 実施状況 a 実施内容 ・ 授業方法について研究会 ・ 授業評価アンケート ・ 教員相互の公開授業及び反省会 ・ 新任教員のための研修会 等 b 実施方法 ・ 学生による授業評価は、授業週の終晩で無記名によるアンケート方式で実施している。 ・ 教員相互の公開授業は、授業参観を受ける教員の時間割の中で公開授業を実施し、参加義務は全員対象 c 開催状況（教員の参加状況含む） ・ 学生による授業評価（アンケート）：年度2回（前期・後期）学生全員 ・ 教員の公開授業：年度2回（前期・後期）授業等に支障のない教員は全員参加 d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ・ アンケートの集計データは、速やかに科目担当教員に通知し、教員は授業の改善、工夫等を検討し、次期授業に反映し学生の授業に対する満足度向上に資するため実施している。
--

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

- ・ 建学の精神である「個性の伸展」と大学の基本理念「個性の伸展による創造的技術者の育成」を掲げ、①技術的創造を目指す技術者の育成、②実践的能力を持つ技術者の育成、③個性の伸展による豊かな人間性と進取の精神に富んだ技術者の育成、を教育目標としており、これら理念・目的を達成するための教育課程の編成方針を示している。
- ・ 今回、22年度入学者数が定員を大きく下回った航空宇宙工学科及び社会環境工学科を学生募集停止し、①航空輸送需要も堅調でハブ空港の実現、国産航空機開発など、今後ニーズが更に高まる航空関連技術者（設計・製造・整備・操縦等）の育成を重視した「航空工学科」の設置、②地球温暖化対策への国際的な取組に象徴されるように今後社会的ニーズが高まる自然と共生するインフラ整備と自然再生、維持保全技術者の育成を目的とする「自然環境工学科」の設置により、産業界や社会ニーズに真に応える人材育成という本学の教育目標の実現を期すものである。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・ 公表時期については、再評価が修了する12月以降公表する予定（平成20年度、認証評価受審結果は公表済み）

b 公表方法

- ・ 大学ホームページ上に公表予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・ 平成23年度に、平成20年度に保留となった基準7及び基準8について評価機関（日本高等教育評価機構）の再評価を受けるべく、学内で準備中

(注) ・ 設置認可時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。